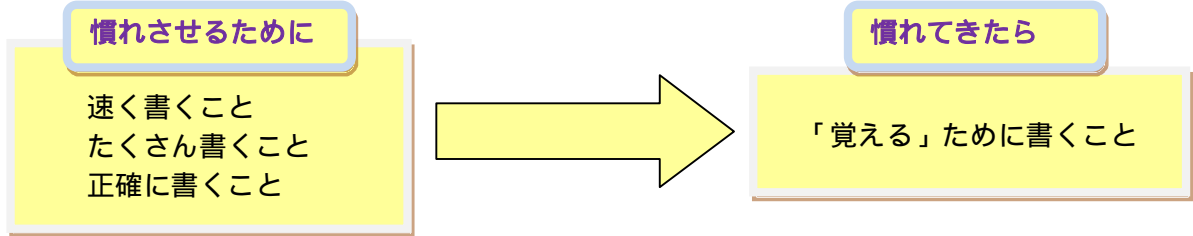


新出単語を練習しよう

1 この活動のねらい

この活動は書く活動を苦手になっている生徒にとって、一番取り組みやすい活動です。ライティングノートを使って3分程度の練習に取り組みさせることで、書き慣れさせることを第一のねらいとしています。また、活動に慣れてきたら、「書くこと」のみが目的にならないよう、「正確に覚えるために書く」という意識をもたせるようにします。



2 活動例

速く、たくさん書かせることをねらいとした活動

学習した新出単語を3分間で、書かせる回数を決めて行います。

教師の指示例

「今日、学習した新出単語8つをそれぞれ3回ずつ書きましょう。」

「3分間でできるだけたくさん書いてみましょう。」

正確に書かせることをねらいとした活動

単語テストを行う前の練習などの場面で使います。特に1年生の入門期では、この活動は音声と文字を一致させるための重要な活動となります。

新出単語 sometimes の指導例

「スウ、オ、ム、メ、タイ、ム、エ、ス」と音素の指導も併せて行い、音と文字を意識させながら書かせるとういでしょう。

覚えることを意識して書かせる活動

活動に慣れてきてきたら、生徒に「覚える」という意識をもって取り組みさせることが大切です。

教師の指示例

「1分間新出単語を練習しましょう。その後、書いた単語を覚えることができたかを自分でテストしましょう。終わったら、残りの時間で覚えていなかった単語を再度書きましょう。」

3 生徒作品例

生徒が書いた右下の23という数字に注目してください。23列書いたということを示しています。この生徒は自分の前回の記録を目標にして、たくさん書くこと(書く量)を意識しているようです。

